

「秋になると・・・？」 利用案

筑波大学附属小学校 佐々木 昭弘

【単元のねらい】

秋の動植物の成長や活動の様子を、夏と比較しながら調べる活動を通して、気温の変化と関係付けて考えることができるようにする。

【番組の利用にあたって】

本利用案においては、子どもたちに秋の動植物の成長や活動への興味・関心を高めるとともに、夏の動植物の成長や活動と比較するための視点を明確にするために、単元導入部分での視聴を設定した。また、これまでの学習を振り返るとともに、秋から冬にかけて動植物の様子がどのように変化していくかを予想させ、今後の観察への見通しをもたせるために終末部分での視聴も設定した。

○：学習活動 ◇：支援 ◆：番組 ■：クリップ ▲：ワークシート

次	時	学習活動	教師の支援
第1次 秋の生き物のようすを調べよう	1	○秋の動物や植物たちの様子について話し合う。 ・葉の数が少なくなってきたよ。 ・葉の色が変わった木もあるね。 ・観察できる動物も、数が減ってきたような気がする。	◇夏に観察した動植物の様子と比較しながら、何がどのように変化したのかを発表させていく。 ◇夏に観察した時の活動を想起させながら、観察の視点を明確にしていく。
	秋になって、植物や動物たちの様子は夏と比べてどのように変わっただろうか？		○『秋になると・・・？』を視聴する。 ○秋の森や校庭の動植物の様子を観察する計画を立てる。
	2 3	観 察 ○秋の森や校庭に出かけ、植物や動物たちの様子を観察し、ワークシートに記録する。 ・夏に咲いていた花はどうなったかな？ ・夏に観察した植物はどうなっているかな？ ・夏にたくさんいた虫はまだいるかな？ ○観察した結果を確認し、夏と比べて何がどのように変化したかをまとめる。 ・昆虫の数が減ってきたね。 ・種類も少ないよ。 ・木の実がたくさん落ちていた。 ・葉が落ちていたり色が変わったりしていた。	◇必要に応じて、下のクリップで観察したことを確かめさせる。 ■サクラの変化 春・夏・秋 ■イチョウの変化 春・夏・秋 ■コナラの実の成長 ▲色が変わった葉をあつめよう 1 ▲色が変わった葉をあつめよう 2 ◇子どもたちが観察した事実をもとに、夏に比べて「観察できる動植物の種類や数が少なくなったこと」「活発さが見られなくなってきたこと」に集約できるようにする。
秋になって、夏と比べると植物や動物たちの種類や数は少なくなり、あまり活発に活動しなくなった。			

第 2 次 植 物 の 育 ち か た を 調 べ よ う	4	○ヘチマを観察し、夏の時の育ち方との違いについて話し合う。	▲ヘチマのかんさつカード
	5	・葉の色が茶色になってきた。数も少なくなって元気がないね。 ・実も茶色になった。	
	秋になってヘチマが育たなくなったのは、なぜだろうか？		
	○育ち方が変わった理由について話し合う。 ・温度が低くなったから？ ・太陽の日差しも弱くなってきたよね。 ○これまでの観察記録を表やグラフにまとめ、温度との関係について話し合う。	◇温度との関係について子どもたちが指摘できない実態の場合は、クリップを活用して情報を与え、今後の観察で確かめる展開とする。 ■秋のヘチマ ◇ヘチマの成長の変化と温度の変化の関係がわかるように、観察してきた記録を表やグラフにまとめさせる。 ■ヘチマの実	
秋になってヘチマが育たなくなったのは、温度が低くなったからである。			
○『秋になると・・・？』を視聴する。 ○冬に近づくにつれて、動植物の様子がどのように変化していくか予想する。	◆『秋になると・・・？』 ◇観察した動植物が、秋から冬にかけてどのような変化が見られるか見通しを持たせ、今後の学習への意欲を高める。 ■春から冬のぞう木林		